

議会の活性化と市民に開かれた議会を目指し

継続した議会改革を

平成29年度

議会関係予算を市長に要望

平成29年度の議会関係予算について、佐藤修孝議長、佐藤邦夫議会改革検討委員会委員長、藤田慶則同副委員長、菅原由和広報編集委員会委員長が、12月8日小沢市長に対し要望しました。要望内容は、★政務活動費の増額として現行の月1万2千円から3万円に引き上げ、★情報発信拡大のための奥州エフエム放送の活用に伴う番組制作等委託費、★事務局体制強化のため併任職員2名の専任化、★議場の照明器具の修理、★議場や委員会室へのデジタル時計の設置の5項目です。

政務活動費について佐藤議長は「議員のスキルアップには増額して活動しやすい状況をつくる必要がある」とし、佐藤委員長は「二元代表制の中で、市当局と車の両輪として様々な政策提案をしながら議員活動をするにはぜひ必要」と理解を求めました。

これに対し小沢市長は「政務活動費については、予算執行者として市民の理解を得るのは難しいのではないかと。行財政改革、緊縮財政の下、要求時期が適切と思えない」とし、ラジオ放送の活用についても「特定の議員が作業をしていく形になりかねないのではないかと述べ、」

「その他の要望を含め、今後庁内で協議し結論を出したい」と回答しました。

政務活動費の県内の主な状況は、盛岡市が月5万円、花巻市と北上市が2万円、一関市が1万5千円等となっています。



市長に対し要望内容を説明する佐藤議長

年頭のごあいさつ



新年おめでとうございます。

市民の皆様には、新たな気持ちで今年一年の目標を定め、健やかに新年を迎えられた事とお察し致します。今年一年が皆様にとって実りある年でありますよう衷心よりお祈り申し上げます。

昨年は46年ぶりの岩手国体が開催され、当市では7種目と障害者大会の一種目が行われ、無事に終了する事ができました。大会運営にかかわった市当局を初め、体育協会、種目別役員、多くのボランティアの皆様、そして応援や皇族の皆様の出迎え、お見送りを頂いた市民の皆様のお陰であります。本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。大会関係者から大いなる賞賛を頂きました。大変誇らしく思っております。

同じ目標に向って皆で様々な立場でかわり、一つの成果を成し遂げる事により生まれる協調性や一体感は、心に残るものと思います。

市の将来についても、皆で足並をそろえて、同じ目標を共有して、手を繋いで進めていけたらと思います。

今年一年が市民の皆様にとって良い年でありますように祈って新年のご挨拶と致します。

奥州市議会 議長 佐藤 修 孝